

令和5年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターきぶね

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和6年2月20日（火） 13:30 ~ 15:00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

『みんなの中で一人ひとりが生き生きと』
～子どもの心に寄り添う保育に努めます～

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した

こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

《遊びの中で育ちあう》
～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿より～
1. 健康な心と体 2. 自立心 3. 共同性 4. 道徳性・規範意識の芽生え 5. 社会生活との関わり 6. 言葉による伝え合い
7. 思考力の芽生え 8. 自然との関わり・生命尊重 9. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 10. 豊かな感性と表現
※一人ひとりの発達に寄り添いながら『7つの活動』を通して教育保育を実践する中で、園内研修を通して日常の保育を振り返る事により「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の繋がりを確認する。また、子ども達の姿から「生きる力」を育むために必要な体験を職員間で話し合いや学びを深め、次への保育に活かしていく。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	3	・グランドデザインは、園内に掲示がしてあり、誰もが目にする為、日常的に意識できる。 ・年度当初や園内研修や会議等で定期的に振り返る機会があり、理解を深める事に繋がっている。 ・グランドデザインや重点目標を理解し、保育の中で取り組むように心掛けたが、中間地点では、疎かになってしまう事もあった。 ・職員会議や園内研修では、職員間で重点目標について話し合い、子どもの姿から具体的な活動に結び付け考える機会になり、意識を共有することができ保育の幅が広がった。	4	・グランドデザインが園内に掲示してあるため、いつでも見れる。 ・グランドデザインには様々な項目があるが、重点を絞って取り組んでいくと良い。 ・職員同士で共通理解することが大切である。 ・保護者にも月末に配布するおたよりで、クラスのねらいや様子を知らせてきている。週末に来週の予定やねらいを知らせてきている。 ・目標はすべて達成されないからこそ次の目標につながっていく。 ・十分に達成されていた。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	・指導計画は、その時の子どもの様子に合った遊びや生活のねらいで立案している。 ・環境は、定期的に見直しをしたり、年齢や発達に合わせて変化させている。 ・月に1回のカンファレンス、日頃の話し合い等で振り返りを行っている。園内研修等で子どもの育ちについて細かく話し合いができた為、計画の中に具体的に取り入れ実践する事ができた。 ・年間→月間→週案の流れで作成しており、年間計画を季節や子どもの様子に合わせて落とし込むことができている。 ・クラスで毎週話し合い情報を共有して進める事ができた。 ・10の姿を研修で学び、年齢ごとにどんな遊びが、10の姿と関わるか出し合い室内環境を変えたり、手作り玩具を作って子ども達の指先を使った遊びができるよう計画・実践をした。	4	・研修はどのような頻度で行っていったのか、時間確保がむずかしいのではないか。その中でできる範囲でやっているということが評価できる。 ・送迎時や保育参加の中で、午睡中等にクラスの職員同士で話し合いや情報共有している姿を見た。 ・十分に達成されていた。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の姿を認め職員間で共有し、その子らしく過ごせる配慮を行った。 ・遊びや生活の中で、異年齢で関わったり友だちと助け合い、協力し合い育ち合えるような教育保育の活動を意識した。 ・0～2歳児は、個々の発達段階に合った生活をすすめる事ができた。園庭では、以上児（3～5歳児）と触れ合う場面もあった。 ・子どもの育ちや姿に合わせて、活動内容を話し合い主体的に行動する場面を大切に。。 ・異年齢の関わりを意識して取り組むことができた。運動会や発表会（和太鼓）、サッカー等の行事を通して、年長児への憧れの気持ちや進級への期待感を持つ事ができた。 ・四季折々の自然に触れられるような園外活動や製作、畑等楽しむ姿があった。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解が大切。園児の名前や保護者の顔を覚えてほしい。色々な職員から見守られているという安心感や喜びを感じてもらえる。それが担任への信頼にもつながっていくのではないかな。 ・様々な職員が子どもに関わってほしい。 ・職員同士、職員と子ども、職員と保護者のそれぞれのつながりを大切にして、信頼関係を築いてほしい。子どもの話をよく聞いてあげてほしい。 ・十分達成されていた。
<p>Ⅳ. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へは、送迎時や個別面談、保育参加等を通して個々の園での様子を伝えたり、育児相談等を周知し親近感を持ってもらえるよう、コミュニケーションを積極的に取ってきた。 ・3～5歳児の運動会を近隣の浜松市立伎小中学校で行い、広い場所で大勢のご家族に子ども達の発達を観ていただく機会になった。 ・0～2歳児には、リズム遊びでの『親子ふれあい遊び』を行い、親子でのふれあいを楽しむ機会になった。また、懇談会の中で「食育」として、出汁の取り方についての動画を発信した。 ・日常の保育活動や行事等、タイムリーにブログで紹介し、家庭と共有する機会にしている。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・担任以外の職員も子どもの様子を伝えてくれるので感謝している。祖父母の顔まで覚えてくれていて安心感がある。・クラスの気になる子（配慮の必要な子）への保護者にも、担任が様子を伝えていたりアプローチしているのを見たことがある。・兄弟の上の子の時から、長く保育園に関わっているが、異動などがあっても職員の挨拶や雰囲気などは良い意味で変わらず、満足している。・満足度調査では、職員が忙しいと話し掛けづらいという意見があった。様々な考えの保護者がいるので、全員が良いということはないが、教職という立場で常にそういうことを意識しながら頑張っている。
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ひろばでは、地域の親子が遊びに来て一緒に遊んだり「子育て相談」や「講座」を行っている。園庭やこやぎの家、リズム遊び等に参加し新規利用者やリピーターが増加している。 ・フレックワークでの活動では、法人園が合同開催し大勢の親子が参加し楽しむ様子が見られる。 ・保育体験、職業体験などの受け入れの中で、地域の中高生と園児の関わりの機会を設けた。 ・園だより（地域版）自治会を通して配布し園を知ってもらえるよう広報活動している。 ・民生委員、児童委員との協議会の機会を設け地域の方と繋がりを持つようにしている。 ・散歩時には、明るく笑顔で挨拶をしている。 ・卒園児の受け入れ体験を行っている。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への交流を積極的に増やせると良い。 ・地域の色々な人々ともっと積極的に関わっていけると良い。 ・卒園した子ども園に来ると温かく迎えてくれるのが嬉しかった。
<p>Ⅵ. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの良い挨拶を心掛けている。 ・園内研修での学び合いや行事についての話し合いには、意見交換し園内で連携して業務に当たれるようにしている。 ・各々が得意分野を活かして、日々の保育や伝統行事等を協力して行っている。 ・各々が外部の研修や法人内での研修などに参加し、学んだ事を共有する機会も設けている。 ・クラス内でのコミュニケーションを取り、職員間での連携をしている。 ・他クラスとの連携が図れるよう話し合いの機会をより多く持ち、クラスの様子や活動について周知できるようにしていく。 ・業務改善等にも繋がるよう職員間の連携を強めていく。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をするという良い風土が育っている。良い風土を継続していくことが大切。 ・人間関係を大切にしている。